



子ども見守り隊の方々を紹介しました

5月18日(火)朝の時間に、TV放送にて「子ども見守り隊」の方の紹介を行いました。本年度、子ども見守り隊に在籍されている方は21名いらっしゃいます。そのうち8名の方が見えられて、本校児童に紹介することができました。お一人おひとりから担当されている地区とともに自己紹介をいただき、代表の方からご挨拶をいただきました。「あいさつをしてくれることで元気がもらえる」とのお話もあり、児童の登下校の見守りを温かい気持ちで行っていただいているのだなと有り難く思いました。お互いに、元気よく挨拶を交わし、安心して登下校のできる地域でありたいと思います。

紹介のあと、連絡会を開き、見守り隊の方から気づいたことなどをお話いただきました。

- 横断歩道で手を上げて渡り、止まってくれた車にお礼のお辞儀をしている様子がとてもよい。
- あいさつが元気よくできている子もいる。だまって行ってしまう子もいる。だんだんと元気にあいさつができるといい。我々も挨拶の声をかけていく
- 道を横断するときには、いったんしっかりと止まってほしい。飛び出している子がみられる。
- 雨降りの時に、大人用の大きな傘を持っている低学年がいる。取り扱いが大変そうで、周りの子に怪我をさせないか心配。また、見通しも悪くなりがちで事故にあわないか心配。子どもがしっかりと取り扱える傘を持たせたい。
- 道路上に駐車して、下校中の子どもたちに声を掛け、車と一緒に乗るよう促している保護者を見かけることがある。道路上では危険なので、駐車スペースのあるところに入って駐車するようにしたい。
- 児童を送迎する車が多いように思う。できれば、心も体も大きく育つ大事な時期であるので、歩いて登下校するようにしたい。

夏季のプール開放を中止します。

本年度の水泳学習は実施します。ただし、感染拡大の防止策を講じながらの学習となります。プール内での間隔保持や不必要な会話の厳禁、接触をさけるなど、従来の注意点に加えさらに多数の配慮すべき観点を考慮しながらの実施となります。

そのうえで、夏季のプール開放実施可否について検討したところ、クラス人数よりも大勢の集団となるため、プール内やプールサイド、更衣する時などで密になることが避けられないこと。また、いつもとは違った集団(異学年も含めた児童)となり毎回の健康チェックカードのチェック、記入漏れの時に電話連絡での確認、緊急時の連絡等健康管理に心配があること。実際のプール入水では、間隔をとった入水や接触をさける泳ぎの指導、接触がある自由泳ぎの時間はとれないなど制約も多く、多数の職員や担当の方々の配置が必要となることから、本年度の夏季のプール開放は中止と判断しました。よろしく願いいたします。

運動会の参観について

先日配布しました「令和3年度 東小運動会のご案内」では、「運動会の観覧は、各家庭2名まで」とさせていただきます。その後、未就学児に就いてのお問い合わせがありましたので、未就学児につきましてはカウントにいけないこととしました。ただし、感染拡大の状況は依然として予断を許さない状況であります。以下のことにつきまして、ご配慮ください。

- 未就学児を連れての観覧については、感染拡大の状況を踏まえ、各ご家庭で十分にご考慮のうえ行ってください。
- 未就学児につきましても感染拡大の防止策を講じていただき、観覧中の怪我や事故のないように保護者の方とともに行動をしていただくようお願いいたします。なお、運動会開催中の校庭遊具の使用はお控えください。